

(別紙様式1)

平成25年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	岐阜県立中津高等学校		
実 施 期 間	平成25年10月28日(月)～11月1日(金)		
実 施 概 要	①保護者や地域住民及び教育関係者に対して、5限以降の授業及び部活動を公開した。 ②保護者を対象として、外部講師による進路情報と子育てに関する講演会を実施した。 ③授業参観者全員及び教師と生徒の授業評価を実施した。		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input type="checkbox"/> 成果発表 <input type="checkbox"/> 交流活動 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会等 <input type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	143 人	計 146 人
	地 域 関 係 者	3 人	
実 施 状 況	<p>本年度は、授業公開週間と進路講演会の2つを実施した。 事前の連絡を周知徹底するため、保護者には案内状を1ヶ月前に送付し、生徒を通じた連絡も繰り返し行った。また地域住民には本校のホームページと、保護者会及び同窓会を通じて参加を呼び掛けた。 期間中の5限目以降の授業及び全ての部活動を公開した。</p> <p>1 授業公開週間 地域住民や保護者の学校理解の促進と授業改善を目的として、保護者や地域住民の授業参観に加え、教員同士の授業参観を行った。 また、生徒・保護者・全教員による授業評価を実施し、さらなる生徒理解及び保護者理解を進めた。特に、生徒の知識構築過程の再確認と学び直しに必要なスキルを磨くため、小学校や中学校の授業研究として授業を参観した。</p> <p>2 進路講演会 第2日目の28日(火)6限に、保護者を対象として、キッズ・コーポレーション、神谷雅志氏による「受験にまつわるお金の話」という題目の講演会を実施した。 この企画は、参加者の当日の内容理解を深めること、また講演者が講演における演出を仕組みやすくするために、講師との事前連絡を密にして実施した。特に今回は、内容を充実させるために保護者の抱える疑問を早期に募集し、複数回の講師との相互連絡を行った。 当日の周辺地区の交通事情の悪化防止のために、保護者には公共交通機関を利用した来校を呼び掛けた上で、事前に駐車場案内を昨年度より詳細に行った。</p>		

成果及び課題

1 成果

全体の参加者は、146名であった。

①講演会

出席者が98名であった。参加者アンケートによると、「質問内容の募集」「保護者目線の取り組み」、講演会で意欲的に参加出来たとの評価が多数であった(90%)。

講演内容は、保護者が知りたい点を的確に捉えた内容であった。また、展開手法もリアルな具体例をふんだんに盛り込んでおり、保護者にとって大変充実したものとなったことが、アンケート結果の高評価からわかった。

保護者にとって、金銭に関わる話題は親子関係のバランスを崩すこともある。しかし、現実的な問題であり苦勞している保護者も多い。したがって、高校生へのアドバイスに関する示唆は、参考になったと思われる。

一方、講師からは、「事前連絡が役に立ち、話しやすかった」とのコメントをいただいた。事前連絡を密にしたことが内容を深め、会の運営等、講演者・参加者双方に効果があったと考える。

他方、今回の教育週間に関わる取り組みは、学校の保護者理解を進め、また今後のキャリア教育の在り方を示唆した。

②授業参観

保護者は、高校の授業実態や生徒の様子がよく理解できる企画だったとの意見を多数いただいた。特に、生徒の素直な反応や明るく積極的な授業態度に対して、94%の好意的評価を得た。

一方生徒は、参観によって授業態度の見直しができて良かったと自己評価している。

2 課題

保護者アンケートからは、授業を理解させるという熱意から、授業が単調になる面がまだ見られるという指摘を受けた。

この指摘を再確認し、授業改善と学校全体の意識改革を、職員会議を通して訴え、全校体制で方策を考え実行していきたい。



図1 講演会の様子



図2 公開授業の様子